

開会の挨拶



富山大学 理事・副学長
磯部 祐子 氏

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介にあずかりました富山大学理事・副学長の磯部と申します。よろしくお願ひ申し上げます。令和元年度北陸信越工学教育協会年次シンポジウムの開催に際しまして、本大学の学長、斉藤に代わり、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は多くの皆さまにご出席いただき、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。本日のシンポジウムでは、基調講演として、アイシン軽金属株式会社元副社長、現在は富山大学学長特命補佐でいらっしゃいます村上哲様に、「大変革期における期待される人材」と題して、お話を伺います。村上様にはご多忙のところ、基調講演をお引き受けくださり、誠にありがとうございます。村上様からは自動車業界に関連したお話が伺えると承っております。

現在、自動車業界は百年に一度と言われる変革期を迎えており、その中で大きなインパクトを与えるトレンドが「CASE」、すなわち、Connected（コネクテッド）、Autonomous（自動運転）、Shared & Services（シェアリングサービス化）、Electric（電動化）と言われているところです。

近年、自動車業界は中国などが牽引役となりまして、市場は安定的に成長を続けてきて、国際自動車工業連合会によりますと、2018年度の自動車生産台数は、9570万台で10年前に比べて4割近く増えているとも聞いておりますが、この「CASE」の進展により、先行きはどのようなようになるのでしょうか。またこのような変革期にいかなる人材が期待されるのでしょうか。本日はそれらを含めたお話が拝聴できるものと楽しみにしております。

ご講演の後、産学官連携に関する教育事例を福井大学さま、金沢工業大学さま、富山大学より紹介があります。福井大学さまからは、「フォーミュラーカー製作プロジェクト」について、金沢工業大学さまからは、「人材育成のための次世代教育システムの構築」について。富山大学からは、「次世代スーパーエンジニア養成コースにおける高度社会人教育」につ

いてお話しいただきます。産・学・官の連携による高度人材育成教育は、各大学で積極的に取り組んでおられるものと存じておりますが、各大学からご紹介いただく取り組みは、産学連携教育の一層の推進にあたって、参考になるものと思っております。本日のシンポジウムが、高度人材育成教育のあり方を深く考えるヒントを提示し、それぞれの大学でその特性に応じた教育のあり方を考える上でも有意義なものとなりますよう、期待いたしますと存じます。

結びとなりましたが、北陸信越工学教育協会のますますご発展、関係の皆さまのご活躍、ご健勝をご祈念申し上げまして開催に当たってのごあいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。